



## プロジェクト名称

## Global Dormitory Project

## プロジェクト活動概要

スーパーグローバル大学に採択されている本学生のグローバル意識の向上のために、異文化交流の場を設けられるようなイベントを企画・運営していく。そのようなイベントを通して少しでも多くの人々がグローバル意識をもって海外のことに興味を持ち、留学や大学卒業後の人生において何かしらのきっかけになるような活動をしている。

## プロジェクト終了後に目標とする成果・結果 / その進捗

- ① 留学生と話す機会をたくさん設けて、留学参加したいという人を新たに20人以上作る。
- ② 国際学生寮の寮生の参加者を過半数(46人)にする。
- ③ プロジェクトの活動をInstagramを用いて配信する。フォロワー100人、投稿数20回を目標とする。

イベントには多くの寮生が参加し、50人ほど参加してくれている。そのため、寮全体の活性化につながっている。また、SNSの活用も進めており、フォロワーも少しずつ増え、このプロジェクトに興味を持ってきている人も増えているように感じている。まだまだこのプロジェクトを知らない人も多いため、もっと積極的に活動し、多くの人々が国際交流に興味を持ってくれるように努めていきたい。

## SDGsへの取り組み

《SDGsとの関連項目》



国際交流は参考書や机に向かって学べることではなく、実際に対面で経験することでしか学べない。しかし、そのような機会を個人的に作り出すことはハードルが高く、簡単なことではない。そこで私たちは国際交流の場を作り出すことを活動意義とし、イベントを通して自らが学べる環境を作っている。



7月：

**七夕&花火**

コロナ禍最初のイベントということもあり手探り状態で企画を行い、全員が楽しめることを目標とした。RAや寮長、寮母の協力のもと、留学生と日本人学生との交流を通してお互いのことを知ってもらう良い機会になり、スイカ割りや短冊の作成、花火など日本の夏ならではの行事を留学生と一緒に体験できた。日本のことを知ってもらうイベントになり、みんなが楽しそうな様子が印象的だった。





10月:

### スポーツ大会

2022年10月のイベントとしては球技大会を行った。日本人と留学生の混合チームを作り、フットサル、バスケ、バレー、ドッチボールを行い、人数も50人程度集まり規模の大きなイベントとなった。後期から新たに日本に来た留学生も多く、同じチームとしてスポーツをすることで言葉に壁があったとしてもお互いを知るいい機会になった。





## ハロウィンパーティー

ピニャータというお菓子の入った箱を割るイベントや、ビンゴ大会をした。特にビンゴ大会は全員が夢中になり、とても盛り上がった。人数も50人程度集まり、仮装してきている人も多く、お化けになりきって国籍関係なく写真を撮るなどして楽しむことができた。また、留学生と日本人学生が楽しそうに話している様子も見ることができ、とても充実したイベントになった。





### 成果まとめ、今後の活動計画など

---

イベントは言葉に壁があっても全員が楽しめ、日本の文化にも触れられるようなものを実施し、留学生との仲を深めることができた。その結果、普段の生活でも留学生と会話する機会が増え、寮内がより活発な雰囲気になった。今後の活動としては、コロナが収まっていけばより広いコミュニティーに広げ、寮生だけでなく本学生や地域の人とも交流することを目標としている。まだ思う存分活動できる環境ではないが、少しずつでも活動の幅を広げていきたい。